

# NETGEAR® インストールガイド

Connect with Innovation™

## NETGEAR® ReadyNAS 1500

本ガイドの手順に従って、NETGEAR® ReadyNAS 1500 をインストールしてください。本製品の構成および操作に関する説明は、*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* は、リソース CD に含まれています。

**注意：**本ガイドの説明は、ReadyNAS を工場出荷時の RAID 構成 (X-RAID2) で使用することを前提としています。

想定所要時間 : 20 分

**注意：**購入時にディスクが付属していないモデルは、セットアップを進める前にディスクのインストールおよび RAID の初期化が必要です。対応ディスク一覧は、[http://www.readynas.com/ja/?page\\_id=82](http://www.readynas.com/ja/?page_id=82) を参照してください。ディスクのインストールと RAID の構成についての説明は、*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。

## RAIDar ユーティリティのインストール

リソース CD から RAIDar ユーティリティをインストールします。Windows、MAC、Linux 版の RAIDar があります。

## ReadyNAS の接続

本体をセットアップするには、ReadyNAS の LAN1 Ethernet ポートをネットワークに接続し、電源を入れてください。起動には 1 分程度かかります。工場出荷時の初期設定は、DHCP で IP アドレスを取得するようになっています。

**注意：**起動後、ReadyNAS に割り当てられた IP アドレスがステータス部分に表示されます。

## ReadyNAS へのログイン

1. RAIDar ユーティリティを実行します。ReadyNAS が検出されます。

**ヒント：**ReadyNAS が起動するたびに、必ず同じ IP アドレスが割り当てられるよう、DHCP サーバを設定すると、コンピュータからのアクセスが容易になります。

2. [設定] をクリックして FrontView (ウェブブラウザによる管理画面) を開き、ログインします。

- 初期設定のユーザ名: **admin**
- 初期設定のパスワード: **netgear1**

ログインすると、FrontView のホームページが表示されます。



## セットアップウィザード

セットアップウィザードを利用して、基本的なファイル共有設定を行います。

**注意：**セットアップ・ウィザードの実行を省略する場合は、警報の送信先メールアドレスを別途設定し、管理者パスワードの変更などを行い、パスワードリカバリの質問を設定してください。バックアップ、ストリーミングメディアサーバ、プリンタ、VLAN、ユーザアカウントやクォータについては、*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。

- 工場出荷時には、セットアップウィザードが有効になっています。[次へ] をクリックしてウィザードを進めます。
- [時計] ページでタイムゾーン、時刻、NTP サーバの設定を行います。[次へ] をクリックして進みます。
- [警告] タブページで、少なくとも 1 つのメールアドレスをシステム警告用に入力してください。[次へ] をクリックして進みます。



4. [イーサネット] タブページで、DHCP のままとするか、IP アドレスを設定します。[次へ] をクリックして進みます。

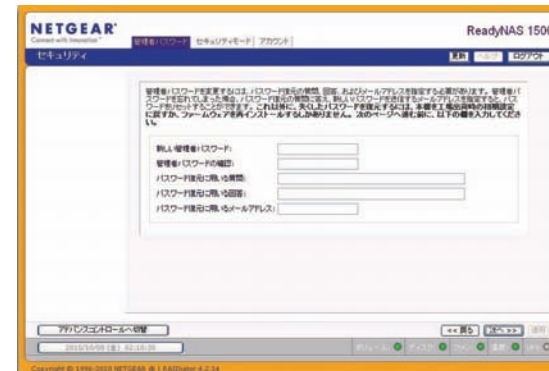
5. [グローバル設定] タブページで、ReadyNAS のホスト名を変更できます。先のステップで IP アドレスを固定設定した場合、デフォルトゲートウェイと DNS の設定が必要です (初期設定の DHCP を使う場合、これらの設定を変更する必要はありません)。[次へ] をクリックして進みます。

6. [管理者パスワード] タブページで、システムログインパスワードを変更し、リカバリの質問、回答、メールアドレスを入力してください。ここでの変更は記録しておきましょう。[次へ] をクリックして進みます。

7. [セキュリティモード] タブページで "ユーザ" を選ぶと、ReadyNAS 上に設定するユーザやグループ情報に基づいて、共有へのアクセスを管理します。FrontView は、ネットワークで検出した最初のワークグループ名を使用しようとしています。ワークグループ名が検出できない場合は、初期設定の "VOLUME" をワークグループ名にします。ReadyNAS が参加するワークグループ名を指定してください。"ドメイン" を選ぶ場合は、*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。[次へ] をクリックして進みます。

8. [アカウント] タブページで [ユーザの追加] をクリックします。新しいユーザとユーザパスワードを追加します。[次へ] をクリックするとウィザードが終了します。アカウントの設定については *ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。

これで基本セットアップは完了です。次に、ReadyNAS の共有にアクセスできるかどうかを検証します。



## 共有へのアクセス

以下の手順で ReadyNAS の共有へアクセスします。

Linux または Unix ワークステーションからの共有アクセス、ドライブマッピング、その他のファイル共有オプション（Unicode や特殊文字を使用したファイル名のサポートなどを含む）に関する詳細は、*ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。

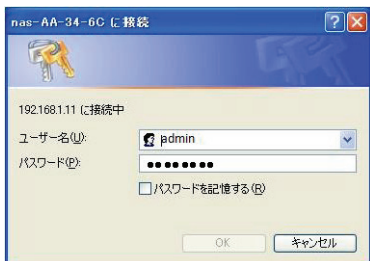
**注意**：CIFS、AFP、HTTP ファイル共有プロトコルは、デフォルトで有効になっています。FTP、NFS および Rsync を使用するには、設定を変更して有効にする必要があります。

## Windows PC からの共有アクセス

1. Windows で共有リストを表示するには、RAIDar で [ブラウザ] をクリックするか、エクスプローラのアドレスバーに **¥¥<ip\_address>** または **¥¥<hostname>** と入力します。

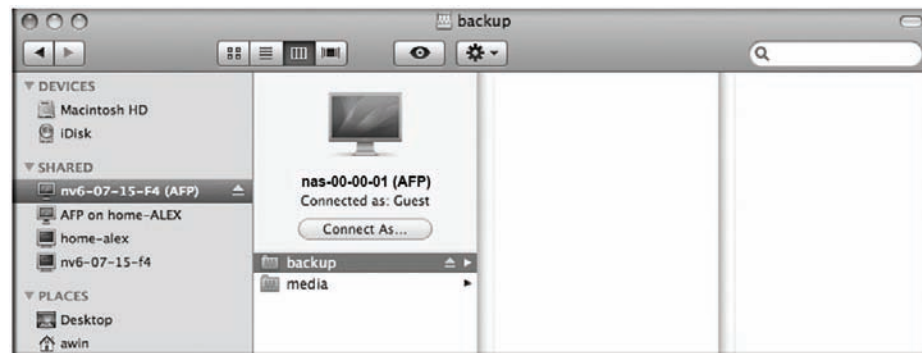


2. 画面にメッセージが表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力して ReadyNAS に接続します。Windows のエクスプローラに ReadyNAS の共有一覧が表示されます。



## MAC OS X から共有にアクセスする

1. OS X で、AFP を通して同じ共有にアクセスするには、Finder を開き、[共有]の中から ReadyNAS のホスト名を探してください。
2. ホスト名をクリックし、共有を表示します。



## テクニカルサポート

NETGEAR 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品の底部に貼られたシリアルナンバーを確認し、製品を <http://www.netgear.jp/registry/> にて登録してください。電話によるサポートサービスなどをご利用になる際は、事前に登録を済ませておく必要があります。弊社 Web サイトからの登録を推奨します。

<http://www.netgear.jp/supportInfo/> から、製品アップデートや Web サポートをご利用ください。

ReadyNAS のその他の設定、構成、およびの使い方については、ReadyNAS ソフトウェアマニュアルを参照してください。ソフトウェアマニュアルは、本体付属のソース CD に入っています。

## 操作上のヒントと注意点

### 電源ボタンの操作

本体を起動する際は、1～2分かかります。本体の電源を切る際は、前面の電源ボタンを2度押してください。これで正常なシャットダウンができます。その他の電源オフまたはディスクスピンドアダウンオプションについては *ReadyNAS 1500 ユーザマニュアル* を参照してください。

### 設置場所

4つの大容量高速ディスクは極めて高い熱を放出します。ReadyNAS の周囲には十分なスペースを取り、ReadyNAS のファンや空気取り入れ口をふさがない場所に設置してください。

### UPS の使用

無停電電源装置 (UPS) を使うと、ReadyNAS へ安定して電源を供給したり、停電が起きた場合などに、正常に自動シャットダウンさせることができます。

### データ保護とボリューム拡張

ディスク1台の装置では、冗長性がなく、ディスクの故障からデータを保護することができません。ディスクを冗長化する際は、1台目のディスクと同容量、もしくはそれ以上のディスクを追加します (ReadyNAS の電源を落とす必要はありません)。ディスクのサイズ次第で、2～3時間以内に、データボリュームが完全に冗長化します。このプロセスはバックグラウンドで実行されるため、ReadyNAS へのアクセスには、何の支障もありません。ディスクの台数を増やす以外に、既存のディスクを大容量のものと交換することでも、ディスク容量を拡張できます。X-RAID2 は自動的にストレージの " 垂直な " 増分拡張を図ります。X-RAID2 では、ディスクのフォーマットやシャッフルなしで、これらの操作を行うことができます。



この記号は、欧州連合 WEEE ( 廃電気・電子製品 ) 指令 2002/96 に基づいて記載されています。欧州連合内で廃棄する場合、本製品は WEEE 指令を実施する管轄地域の法令に基づき、処理およびリサイクルする必要があります。



201-13125-01



2010 年 10 月

©2010 by NETGEAR, Inc. All rights reserved. NETGEAR および NETGEAR ロゴは、米国およびその他の地域における NETGEAR 社の登録商標です。その他のブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。本書に記載される情報は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。